

第3回オープンハウス、ご来場ありがとうございました。

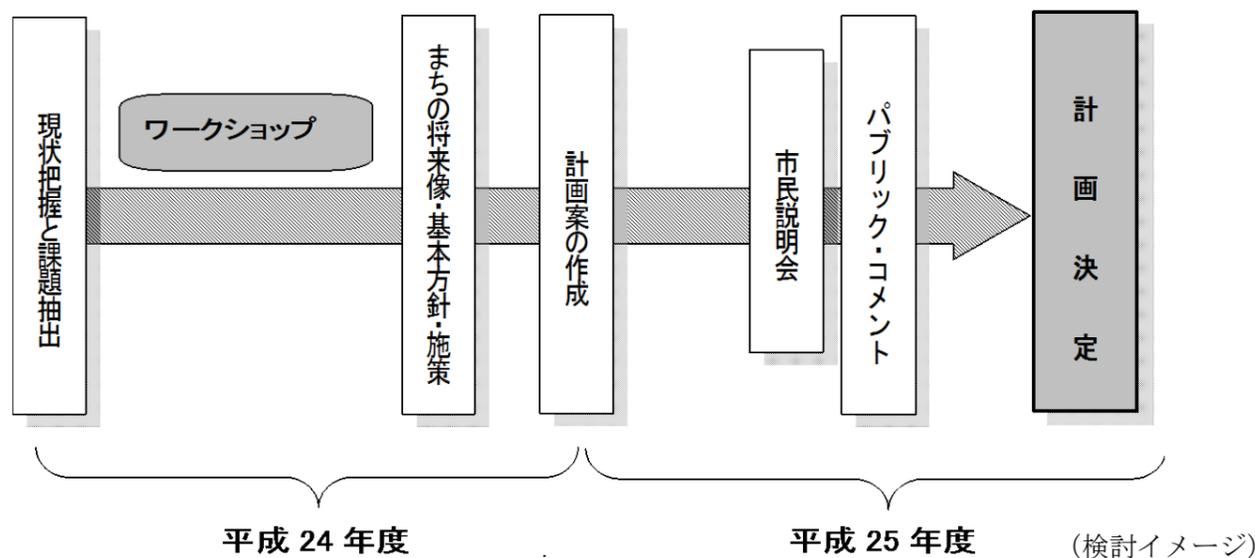
第3回オープンハウスは、もとまち公民館まつり（10/13 来場者 28 人）、こくぶんじ朝市（10/14 来場者 33 人）、ひかり公民館まつり（10/20 来場者 22 人）に参加する形式で、環境基本計画の見直しに関するご意見を伺う機会として開催しました。

【来場者の主な声】

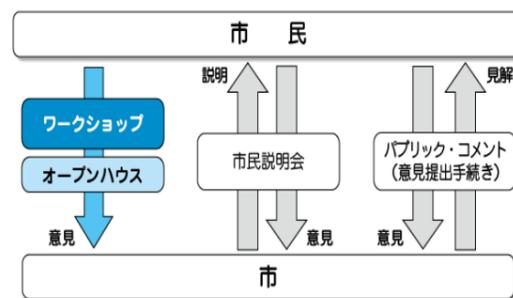
- これ以上緑が減少しないような施策を実施してほしい。
- 小金井市に比べて、緑と水に関する施策が遅れているのでは。
- 雨水浸透ますだけでなく、雨水タンクについても助成してほしい。
- （食育に関して）授業参観日などに併せて学校給食の食材を公開してほしい。
- 国分寺区間における野川の自然河川化を促進してほしい。



環境基本計画の改定までの流れ <イメージ>



今後は、ワークショップの意見などを踏まえ、市内検討組織において計画案を作成し、市民説明会、パブリックコメント（意見公募）などの手続きを経て、平成 25 年度内の改定を目指します。



【連絡先】 国分寺市 環境計画課 環境計画係

〒185-0013 西恋ヶ窪4-9-8 清掃センター敷地内
 電話： 042 (328) 2192 FAX： 042 (326) 4410
 Eメール： kankyokeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

環境基本計画

<第6号 (最終号)>



市民ワークショップ ニュース



発行日：平成24年11月30日
 編集：国分寺市環境計画課

電話：042(328)2192
 Eメール：kankyokeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp

第6回ワークショップでは、第1回から第5回までの意見から、市民ワークショップとしての10の重点事項をピックアップしました！！

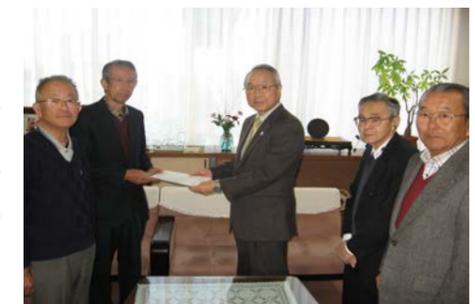
●10月21日（日）の第6回（最終回）のワークショップ（以下、「WS」という。）では、参加者18名が3班に分かれ、過去5回で挙げた意見をもとに、班ごとに特に重点的に取り上げるべき施策を検討・発表し、さらに全員で協議し10の重点事項を決定しました。



平成24年11月21日(水)に、市長へワークショップの検討結果を報告しました！

ワークショップの参加者を代表して龍神瑞穂さん（WS進行役）をはじめ、市民4名が検討結果についての報告書を市長に手渡し、次期計画への反映を要望しました。

出席者からは「市域を対象にした地球温暖化防止行動計画を策定すべきである」「環境施策の遂行には市内の横断的な取組が必要である」「東京都に対し、野川の親水化整備をより強力に働きかけるべき時機にある」などの補足意見が述べられました。



市長からは、報告書に目を通しながら、空間放射線などの測定の継続実施のほか、温室効果ガス（主に二酸化炭素）の排出量削減、農地の保全、野川の親水化、ごみ減量などの推進について所信の表明がありました。

★環境基本計画市民ワークショップにおける10の重点事項をとりまとめました！

第5回までのワークショップは、緑・水・生物など11のテーマでそれぞれの課題、望ましい将来像について検討してきました。

最終回では過去5回の意見をもとに、ワークショップとして重点事項を取りまとめることにし、以下の10項目を重点事項として取りまとめました。

選定の理由は、「生物多様性を確保するためには、生物が生きられる環境としての農地や緑地は重要であり、こうした観点からも農地や国分寺崖線緑地の保全は必要である。」「用水路は新田開発の必要不可欠な基盤として、農と人々の暮らしを支えてきた歴史的文化遺産としての位置づけを明確にする

重点事項

<緑・水・生物>

1. 生物多様性保全のため、生物の生息環境づくりとして、地球温暖化防止のため、農地と崖線緑地を保全する施策を講じること。また、事業の実施にあたっては、市民との協働や表彰制度の創設も配慮すること。



2. 生物多様性の確保、災害時の緊急通水、市民が憩える水辺空間の創出などを図るため、野川の親水化整備と砂川用水・恋ヶ窪用水の保全、復活を進めること。加えて、野川上流の清水川(お鷹の道)や姿見の池においては、さまざまな生物(ホタルなど)が復活生息できる環境づくりを実行すること。

なお砂川用水については都市計画道路国3・2・8号線事業で通水を阻害しないこと。



<公害・食>

3. 化学物質による汚染(自動車排ガス, 放射能, 建築材料, 化粧品, 洗剤などを含む)から、生活空間・地下水を守るため、必要な調査・研究を進め、適切な情報提供を行うこと。



4. 多面的機能を有する農地を残すため、都市農業を支援していく必要があり、地産地消を推進する必要があります。また、食の安全のため、有機農業を推奨するとともに、国分寺のブランド品創出・育成、道の駅を設置してPRに努めること。



<道路・交通/景観・歴史>

5. 自転車の走りやすい専用道を整備し、同時に市民等への自転車の運転マナーとルール順守を徹底すること。



必要がある」「東日本大震災に伴う放射性物質のモニタリング調査を引き続き行うこと」「都市農業への市民の理解、支援が必要であり、地産地消、有機農業の推進などによって国分寺ブランドの創出・育成、道の駅を設置を行う必要がある」などです。

紙面の都合上、各項目ごとの選定理由の記載は省略しています。詳しい内容をご覧になりたい方はホームページやオープナー(市役所付属棟)、各公民館・地域センターをご利用ください。

重点事項

<道路・交通/景観・歴史>

6. 近世の新田開発、近現代の産業開発等の歴史をきちんと評価し、その歴史的景観や文化財を適切に保全・活用すること。



<人・ごみ>

7. 自治会および地域コミュニティを強化するため、地域ぐるみの活動(資源ごみ回収, 防犯, 防災など)をさらに推進すること。その際、世代ごとのニーズをくみとりながら進めるとともに、民生委員のサポートも行うこと。



8. 環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の実現、と同時に市予算の節減に取り組むため、積極的かつ大胆なごみ減量目標を定めること。またそれを実現するため、ごみの発生抑制の促進、生ごみたい肥化・分別の徹底の推進、環境教育・学習の充実、ごみ有料化の適切な実施を進めること。



<地球環境>

9. 市民のライフスタイルの見直しを促進するため、環境家計簿の活用などによる啓発活動、環境教育・学習の取組を充実させること。



10. 公共交通の利用促進に向けた対策を行い、自家用車を減らし、地球温暖化防止を推進すること。

